

実務経験のある教員等による授業科目一覧					
学科	担当教員名	授業科目名	履修 学年	単位数	実務経験のある教員による授業内容
キャリア育成学科	鷲尾 敦	ビジネスシステム演習	2	1	システムエンジニアとして、システム設計、システム構築に関わってきた。この授業は、システムエンジニアとしての経験を踏まえ、業務を把握し表現する方法や、データベースを核とするシステムの設計、構築する内容を指導を行う。
	中畑 裕之	ビジネス実務論	2	2	銀行、その関連会社総合研究所にてその関連会者にて36年間ビジネス実務に携わり、企業の経営指導、コンサルティング、職場改善、販路開拓などを業務として行ってきた。その経験をいかし、本授業ではビジネスの現場で起きている環境変化を理解し、ビジネスの現場で求められている実務や知識が身に付くよう、経験してきた事例なども題材にしながら、ビジネスの現場に出たときに役立つ授業を行う。
		社会学	2	2	銀行系のシンクタンク総合研究所にて26年間経済産業動向の調査や地域の計画づくり、企業の経営指導、コンサルティング、職場改善、販路開拓などを業務として行ってきた。現代社会や地域の課題を多く扱ってきた。その経験をいかし、本授業では社会問題を理解し、問題点を整理し、自らの意見提案などの表現が出来るようになること。社会問題の背景や関連性を学び、関心を持つことを目標にしている。 社会の課題について基本的な情報提供を行った後、学生はグループディスカッションなどを行い、結果を発表するなどの授業を行う。
		マーケティング論	2	2	銀行系のシンクタンク総合研究所にて26年間経済産業動向の調査や地域の計画づくり、企業の経営指導、コンサルティング、販路開拓、職場改善などを業務として行ってきた。その経験をいかし、その中で地域産品の商品開発や販路開拓支援、地域企業の海外販路開拓支援なども行った。その経験をいかし、本授業ではビジネス実務で必要なマーケティングの考え方や基本概念、用語・知識を身につけるとともに、なぜという疑問、問題を発見する力をつけることを目標にしている。 身近にある企業やその商品、地域の取り組みなどを事例として扱いながら講義形式で行っている。その中で経験した地元産品の事例や海外販路開拓の事例なども扱う授業を行う。
		地域産業論	1	2	銀行系のシンクタンク総合研究所にて26年間経済産業動向の調査や地域の計画づくり、企業の経営指導、コンサルティング、職場改善、販路開拓などを業務として行ってきた。現代社会や地域の課題を多く扱ってきた。その経験をいかし、本授業では地域で活躍する人となるために、三重県の産業と経済、また行政施策などについて幅広く講義を行うとともに、その課題についても情報提供を行っている。三重県の経済や産業について他者に説明できる力をつけるとともに、地域・産業・業種が抱える課題を発見し、その改善に向けて思考する力をつけられることを目標にして授業を行う。
		社会体験学習	1	1	銀行系のシンクタンク総合研究所にて26年間経済産業動向の調査や地域の計画づくり、企業の経営指導、コンサルティング、職場改善、販路開拓などを業務として行ってきた。現代社会や地域の課題を多く扱ってきた。その経験をいかし、本授業では社会体験実習(10日間企業・団体で職業体験を行うもの)に向けて、社会人としての心構え・常識、職場でのマナー、ビジネスマナーの基礎を身につけるとともに、履歴書作成、電話応対、お礼状の書き方など実践的なスキルを演習形式で身につける授業を行う。
	朝日 幸代	経済学	1	2	新聞社で経済データ・情報を扱い分析した業務経験のある教員が、経済学の考え方や理論について、身近な社会の事象や経済問題を経済データやメディア情報を用いて解説する。
	大山 淳司	ファイナンシャル・プランニング	2	2	地方銀行ならびに同銀行系シンクタンクに勤務し経験から、ファイナンシャル・プランニングという言葉を理解し、国家資格の存在と取得方法について具体的な事例に基づいた授業を行う。
	前川 千秋	医療事務Ⅰ	2	4	医療事務教育機関より15年間医療機関にて診療報酬請求業務の実務経験のある教員を派遣していただき、医療事務の理解を深められるよう講義に加え演習を繰り返す行う。また、多数の事例を取り入れ実務に近い内容の講義を行う。
	若林 正清	労働法	2	2	長年、社労士法人の代表を務める実務経験を活かして、企業の総務・人事部門が取り扱っている労働法・人事労務・社会保険等について、実務に即して授業を行う。

学科	担当教員名	授業科目名	履修 学年	単位数	実務経験のある教員による授業内容
キャリア育成学科	福田 洋子	心と身体のしくみⅢ	2	2	看護師の実務経験の有る教員が、排泄・入浴・睡眠に関する人体の構造と心身機能の知識を踏まえ授業を行なう。
		医療的ケアⅡ	2	2	看護師の実務経験の有る教員が、医療的ケアにおける講義、演習を行う。
		医療的ケア演習	2	2	看護師の実務経験の有る教員が、喀痰吸引、経管栄養の実施ができるようになるための基礎知識と基礎技術の講義、演習を行う。
		心と身体の医学Ⅱ	2	2	看護師、介護福祉士としての実務経験の有る教員が、心と身体に関する基本と病気のケアについての授業を行う。
		介護過程演習Ⅲ	2	1	看護師、介護福祉士としての実務経験の有る教員が、介護過程演習Ⅰ・Ⅱの学習をふまえて、さらに実際に活用できるような知識が身につくよう授業を行う。
		介護過程演習Ⅴ	2	1	看護師、介護福祉士としての実務経験の有る教員が、学生の実習における受け持ち利用者の介護計画の総合指導を行う。
	服部 優子	くらしとレクリエーション	1	2	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、提供したレクリエーションをもとに生活文化に根差したレクリエーションの紹介、指導を行う。
		総合生活支援技術	2	1	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、提供した支援内容と教科書の指導内容をもとに介護技術(実技)の復習を行う。
		介護実習総合演習Ⅰ	1	1	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、介護実習の意義や実習の位置づけを認識し利用者の生活について理解を深め、基本的な介護技術を確認しながら実習に臨む準備・指導を行う。
		コミュニケーション技術Ⅱ	1	1	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、コミュニケーションの果たす役割を理解した上で、利用者やその家族への関わり方、多職種協働を実現するためのコミュニケーション等に学びをつなげていけるよう演習を行う。
		基礎生活支援技術Ⅱ	1	1	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、提供した支援内容と教科書の指導内容をもとに介護技術(実技)の復習を行う。
		基礎生活支援技術Ⅳ	1	1	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、利用者の生活上の課題を見極める視点や介護福祉士としての死生観を養えるよう、基本的技術の向上を指導する。
	中川 千代	介護概論	1	2	介護福祉士の社会的役割、利用者本位の介護サービスの提供に必要な理念、理論、知識を理解するため、介護老人福祉施設での実務経験や各都道府県に1か所ずつ設置された介護実習・普及センターでの実務経験を活かし「生活者の視点」を重視した授業展開を行う。
		介護過程Ⅱ	1	1	介護老人福祉施設での高齢者介護の業務や介護支援専門員としての実務経験を活かし、介護過程展開の各段階を理解し、実践に生かせる個別援助計画を立案するための基礎を学ぶ。
		コミュニケーション技術Ⅰ	1	1	介護老人福祉施設での実務経験や各都道府県に1か所ずつ設置された介護実習・普及センターでの一般県民向けの介護講座・介護相談等実務経験を活かし、コミュニケーションの果たす役割を理解した上で、生活機能の低下した利用者やその家族への関わり方、また、多職種協働を実現するためのコミュニケーション等に学びをつなげていけるように基本的な話の聴き方が理解できることを目指しアクティブラーニング演習を重ねる。
		基礎生活支援技術Ⅰ	1	1	介護老人福祉施設での高齢者介護の実務経験や各都道府県に1か所ずつ設置された介護実習・普及センターでの一般県民向けの介護講座・介護相談等の実務経験を活かし、利用者の生活上の課題を見極める視点を養う。自立に向けた環境整備、入浴、装い、車いす操作のための知識と基本的技術を演習する。
		介護実習総合演習Ⅰ	1	1	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、介護実習の意義や実習の位置づけを認識し利用者の生活について理解を深め、基本的な介護技術を確認しながら実習に臨む準備・指導を行う。
		介護実習総合演習Ⅱ	1	1	介護老人福祉施設での高齢者介護の業務や介護支援専門員としての実務経験を活かし、介護実習Ⅱでの実践が円滑に行え学びが深められるよう、意義・目的を理解し施設を利用する対象者の生活を理解し学べるよう授業を行う。
		介護総合演習Ⅲ	2	1	介護老人福祉施設での高齢者介護の業務や介護支援専門員としての実務経験を活かし、介護実習Ⅲでの実践が円滑に行え学びが深められるよう、各分野の内容を具体的に自ら学び理解できるよう授業を展開する。

学科	担当教員名	授業科目名	履修 学年	単位数	実務経験のある教員による授業内容
キャリア育成学科	倉田 町子	応用生活支援技術Ⅲ	2	1	保健師、看護師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカーとしての実務経験がある教員が、利用者の障害に応じた生活支援を行うために、それぞれの障害の理解と生活への支援の方法介護技術について授業を行う。
		障害の理解Ⅱ	2	2	保健師、看護師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカーとしての実務経験がある教員が、障害のある人の生活支援の根拠となる心身機能障害の理解と心理および日常生活への影響とアセスメントの視点について授業を行う。
	伊藤 利美	医療的ケアⅠ	1	2	看護師としての実務経験を活かし、介護福祉士として最低限必要な医行為についての基礎知識等、次のⅡ～の授業につながるよう授業を行う。
		心と身体のしくみⅡ	1	2	看護師としての実務経験を活かし、人体の構造・心身機能の学びと共に、その根拠をもって利用者の安心・安全かつ・尊厳ある生活支援ができるよう授業を行う。
		介護管理	2	2	看護師としての実務経験を活かし、介護福祉士として最低限必要な利用者の健康管理や介護者の健康管理についての詳細な授業を行う。
	木下 誠一	生活の理解Ⅲ	2	1	一級建築士として設計事務所で10年以上実務に従事した経験のある教員が、実践的な住まいの計画の仕方などについて講義をする。
	蒔田 勝義	社会保障	2	2	社会福祉士として、現場での社会保障・社会保険に関する実務経験を活して、介護福祉士として必要な知識・技術の講義をする。
		地域福祉	2	2	市・県社協での実務経験からの実践的な地域福祉を基礎とした知識・技術の講義をする。
		応用生活支援技術Ⅱ	1	1	手話通訳士として、市町での手話奉仕員養成講座等での講師実務経験を活して、介護福祉士として必要な手話の知識・技術を教授する。
	松枝 桂子	介護過程Ⅰ	1	1	介護支援専門員・看護師として実務経験のある教員が、介護過程の各項目の視点を理解できるように、学生の生活の中から考えられるようになるよう、確認しながら行う。
		応用生活支援技術Ⅰ	1	1	看護師として実務経験のある教員が、体の仕組みと疾患の特徴。その介護方法を実習で理解を深める。
		基礎生活支援技術Ⅲ	1	1	看護師として実務経験のある教員が、自立支援を行いながら、介護を行う方法をテキストだけでなく、経験を織り交ぜながら実習を行う。
		介護過程演習Ⅳ	2	1	介護支援専門員・看護師として実務経験のある教員が、介護過程の考え方を事例を通して、理解できるように行う。
	森 ふみ子	医療的ケア演習	2	2	病院臨床看護師と高齢者福祉施設の看護の実務経験のある教員が、ケアの基本と手技を学生に実践指導している。
	水野 友美	人間関係Ⅰ	1	2	臨床心理士、公認心理士としての実務経験を持つ教員が、人間関係の形成やコミュニケーションの基礎についての心理学やカウンセリングの理論など、様々な視点からの関わりを理解し実践できるよう技術を指導する。
		人間発達の理解Ⅰ	1	2	総合病院にて13年以上現在まで心理療法士としての実務経験を持つ教員が、人間発達の基礎知識と発達課題の乳児期から老年期の生涯発達を通じた理解、老年期を中心に心理医学的側面からの理解について、客観的見方と受容姿勢を指導する。
単位数計				70	